

東京都がん診療連携協議会主催 “看護師のためのがん患者とのコミュニケーションスキルトレーニング”のご案内

定員につき締め切りました。

【日 時】 2010年10月31日(日) 9:30~16:00

【会 場】 癌研有明病院 セミナー室AB

【プログラム】

目的： コミュニケーションスキルを習得し、患者・家族・医療従事者間で良好なコミュニケーションをはかりながらケアを推進していくことに活かす。

コミュニケーション概論	川名典子先生	杏林大学医学部附属病院 精神看護専門看護師
シナリオを用いた演習	川名典子先生	杏林大学医学部附属病院 精神看護専門看護師
ロールプレイを用いた演習	川名典子先生	杏林大学医学部附属病院 精神看護専門看護師
	ファシリテータ	精神看護専門看護師
ディスカッション		

【申し込み条件】 東京都がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、東京都認定がん診療病院計 32 病院に勤務し、各病院でがん看護のリーダーシップを担う者。各病院 2 名程度。

【募集人数】 事前登録制 60 名程度

【参加費】 無料

【申し込み方法】 必要事項を記載の上、E-mail または FAX をご送付ください。

①研修名：がん患者とのコミュニケーションスキル ②氏名（ふりがな）③病院名 ④看護師経過年数
⑤連絡先 E-mail アドレス（携帯電話不可） または FAX No

* FAX でのお申し込みの場合には、専用の申し込み用紙をご利用ください。

（癌研究会有明病院 HP <http://www.jfcr.or.jp> からダウンロード可）

* 定員になり次第締め切ります。

* 1 施設からの参加申し込み多数の場合には、事務局で調整させていただく場合があります。

【申込受付期間】 2010年8月10日(火) ~8月27日(金)

【申し込み・お問合せ先】 癌研究会有明病院事務局 E-mail renkei-kenshu@jfcr.or.jp FAX 03-3570-0504

【会場までの交通案内】

- ◆ りんかい線 国際展示場駅下車 徒歩約 5 分
- ◆ ゆりかもめ 有明駅 徒歩約 3 分



東京都がん診療連携協議会主催

“看護師のためのがん患者とのコミュニケーションスキルトレーニング”

参加申し込み **FAX** 用紙

癌研究会有明病院 看護研修事務局（健診センター）田中 行

FAX No. 03-3570-0504

受付期間：2010年8月10日（火）～8月27日（金）

研修名	<input type="checkbox"/> 看護師のためのがん患者とのコミュニケーションスキルトレーニング (2010 / 10 / 31)
ふりがな 氏 名	
病院名	
看護師経験年数	年目
ご連絡先（返送先） E-mail アドレス （携帯電話不可） または FAX No.	

*この申込用紙を（ひとり1枚）用いて、FAXでお申し込みください。

*定員になり次第締め切らせていただきます。参加の可否については、折り返しお知らせいたします。

平成 22 年度第 1 回都道府県地域がん診療連携拠点病院および東京都認定がん診療病院研修会(放射線技師等)の報告

癌研有明病院 放射線部治療チーム 佐藤智春

➤ 開催日時：平成 22 年 5 月 22 日(土) 10:10～15:10

➤ 開催場所：癌研究会研究棟 1 階 吉田講堂

目的:高エネルギーX線および電子線の各測定に適した線量計の選択と測定方法を習得する。

なお第 1 回の研修会にて講義済みである MU 校正は除き、PDD, TMR, OCR, OPF などについて行う。

➤ 参加者： 28 施設 80 名

➤ プログラム：

10:10～10:15 開会の挨拶

10:15～11:45 高エネルギーX線の線量測定

名古屋大学附属病院 放射線部 青山裕一 先生

11:45～12:45 (ランチョンセミナー) ナロービームの線量測定

(株)東洋メディック 荒木教行 先生

12:45～13:30 昼食(お弁当付)と休憩

13:30～15:00 高エネルギー電子線の線量測定

信州大学附属病院 放射線部 小口宏 先生

15:00～15:10 修了書授与と閉会の辞

➤ アンケートの結果：回収率 96% (80人/77人)

1. 放射線技師の経験年数は 10 年以上が約 6 割(62%)を占め、前回と同様、受講者は中堅以上であった。
2. 放射線治療の経験年数は、3 年未満の初心者および 3～10 年の中堅が各々 44%、10 年以上のベテランは 12%であった。 前回は、3 年未満の初心者が 33%、3～10 年の中堅が 44%、10 年以上のベテランは 23%であったことを考えると、今回の参加者はローテーションや転勤などにより、10 年以上のベテランが抜けて新たに治療に配属された受講生が多くいたのではと推測される。
3. 放射線治療関係の学会入会率は、日本放射線腫瘍学会 51%、日本放射線技術学会

治療分科会 48%となり、前回（腫瘍学会 58%、分科会 52%）よりも入会率が若干下がった。なお、日本放射線技術学会の入会率は 84%であり、治療に特化せず学術に関する意欲はあるようである。

4. 各講義内容について、大半の受講生が理解できた（講義順に 81% , 65% , 87%）と答えており、特殊な測定法であるランチョンセミナー極小照射野（ナロービーム）の講義が若干低かったが、基本的な測定は 8 割方の受講生が理解できており本研修会の目的は達成できたと考える。

➤ 受講生の意見と要望：

来年公開される予定である標準測定法 10 を取り上げてほしい。

臨床的な内容をお願いしたい。

IMRT を行っている各施設の検証作業の実際を知りたい。

初心者でもわかるモンテカルロシミュレーションなどの要望があった。

以上

平成21年度第1回がん拠点病院放射線等技師研修会 参加者80名



講師;名古屋大学 青山裕一先生



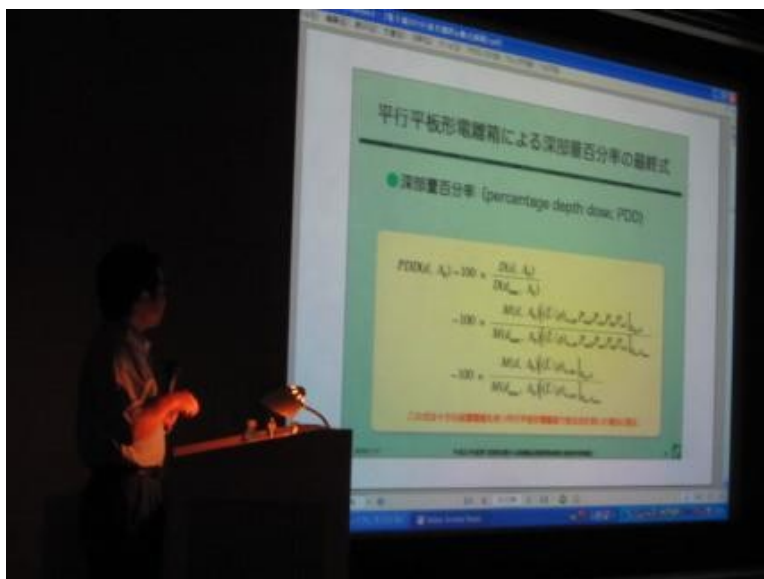
講義風景1



講義風景2



平成21年度第1回がん拠点病院放射線等技師研修会 参加者80名



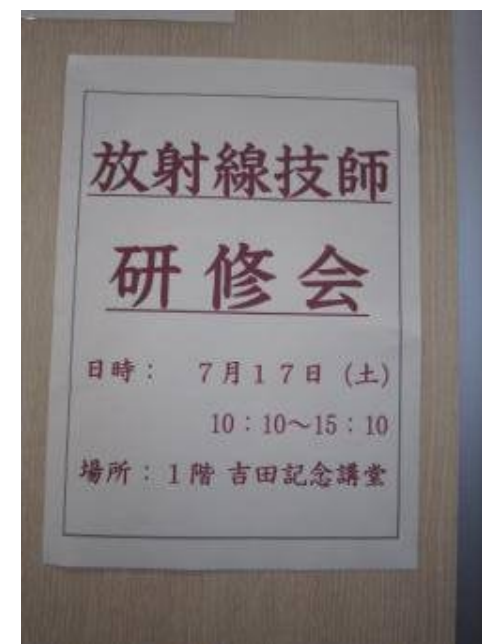
講師;信州大学 小口宏先生



講義風景3



総合司会;癌研有明病院 佐藤智春



東京都がん診療連携協議会研修部会放射線技師等小委員会平成 20 年 21 年活動報告

本研修部会放射線技師等小委員会が行う研修会の目的

本研修会を受講することで、放射線治療に携わる放射線技師等の知識および技術の充実と均てん化を図る。

1. 平成 20 年度 東京都がん診療拠点病院等講習会（放射線治療技師等）開催

日 時：平成 20 年 11 月 15 日（土） 14:00～18:00

場 所：癌研有明病院 吉田講堂

目 的：外部放射線治療に用いられるリニアックなどの治療装置の精度管理に関する基礎を学び、知識の再確認および補充を行う

プログラム：

14:10～15:20 放射線治療計画装置の QA

東京女子医科大学 放射線腫瘍部 羽生裕二 先生

15:30～16:40 MU 校正

群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 保科正夫 先生

16:50～18:00 線量および幾何学的精度の QA

群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 佐々木浩二 先生

- 参加者： 75 名
- アンケートの結果：回収率 87%
 - ✓ 放射線技師の経験年数は 10 年以上 30 年未満が半数以上（63%）を占め、受講者は中堅以上であった。
 - ✓ 放射線治療の経験年数は、約半数近く（45%）が 3 年未満の初心者であった。
 - ✓ 放射線治療関係の学会入会率は、日本放射線腫瘍学会 51%、日本放射線技術学会治療分科会 55%となり、継続して治療を勉強していく意欲のある受講者は約半数であった。
 - ✓ 各講義内容について、大半の受講生が理解できた（78%～94%）と答えており、基礎的な知識の再確認と補充という今回の研修の目的は、達成できたと考える。
 - ✓ 受講生の半数が放射線治療の初心者であり、要望もあったことから、次回も全国から治療技術に関して著名な講師を招き、基礎的な内容の講義をお願いする。

2. 平成 20 年度東京都がん診療連携協議会研修部会放射線技師等小委員会開催

日時：平成 21 年年 2 月 24 日 18 時 30 分～19 時 15 分

場所：癌研究会研究棟 1 階セミナー室 B

出席者 19 名、欠席者 6 名

議題内容：

- ✓ 平成 20 年度講習会およびアンケートの結果報告
- ✓ 次年度開催日時とプログラム素案の検討と承認

3. 東京都がん診療連携協議会研修部会放射線技師等小委員会規定を作成

上記タイトルの規定を作成し、各施設の委員とメール会議を行い承認を得た。平成 21 年 4 月 15 日から本規定を施行している。

4. 平成 21 年度 東京都がん診療拠点病院等講習会（放射線治療技師等）開催

日 時：平成 21 年 10 月 31 日（土） 10:10～15:10

場 所：癌研有明病院 吉田講堂

目 的：外部放射線治療の投与線量の決定に必要な高エネルギー X 線および電子線における MU 計算の基礎を学び、知識の再確認と補充を行う

プログラム：

10:15～11:45 X 線の MU 計算

群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 保科正夫 先生

11:45～12:45 （ランチョンセミナー）

RTPS 線量計算アルゴリズムについて

バリアンメディカルシステムズ 神田哲弥 先生

13:30～15:00 電子線の MU 計算

信州大学附属病院 放射線部 小口宏 先生

- 参加者： 59 名
- アンケートの結果：回収率 88%
 - ✓ 受講者の技師経験年数、治療経験年数、関連学会入会率については、前回と同様の結果であった。
 - ✓ 各講義内容について、大半の受講生が理解できた（73%～79%）と答えており、基礎的な知識の再確認と補充という今回の研修の目的は、ほぼ達成できたと考えられる。
 - ✓ 研修会の開催数について、年 1 回が 40%、年 2 回が 50%、3 回以上が 10%という結果になり、半数の受講生が年 2 回の開催を望んでいた。次年度について、年 2 回の開催が可能か前向きに検討する。

5. 平成 21 年度東京都がん診療連携協議会研修部会放射線技師等小委員会（メール会議）

日時：平成 21 年年 2 月 1 日から 28 日

議題内容：

- ✓ 平成 21 年度講習会およびアンケートの結果報告

- ✓ 年2回開催することに関する賛否； 賛成多数、反対意見なし
 - ✓ 次回開催日時とプログラム素案の検討と承認； 賛成多数、反対意見なし
- 平成 22 年度 東京都がん診療拠点病院等講習会（放射線治療技師等）開催予定
平成 22 年 7 月 17 日（土） 10:10～15:10
- 場 所：癌研有明病院 吉田講堂
- 目 的：高エネルギーX線および電子線の各測定に適した線量計の選択と測定方法を習得する。なお第1回の研修会にて講義済みである MU 校正は除き、PDD、TMR、OCR、OPF などについて行う。

プログラム：

- 10:15～11:45 高エネルギーX線の線量測定
名古屋大学医学部附属病院 放射線部 青山裕一 先生
- 11:45～12:45 （ランチョンセミナー） ナロービームの線量測定
（株）東洋メディック 荒木教行 先生
- 13:30～15:00 高エネルギー電子線の線量測定
信州大学医学部附属病院 放射線部 小口宏 先生

平成 22 年度講習会の日時は平成 23 年 2 月 5 日（土）、内容は検討中。

平成 22 年度第 2 回 東京都がん診療拠点病院等研修会(放射線治療技師等)

日 時：平成 23 年 2 月 5 日（土） 9:50～16:00

場 所：癌研有明病院 吉田講堂

対象者：東京都がん診療連携拠点病院および地域がん診療連携拠点病院、東京都認定がん診療認定
病院において放射線治療に従事している、または従事する予定がある放射線技師等

目 的：放射線治療計画装置（以下、RTPS）の計算アルゴリズムの基礎および使用に当たっての
注意事項を習得し、安全かつ適切に治療計画装置を扱うことができるようになる。

プログラム：

9:50～10:00 開会の挨拶

10:00～11:20 RTPS 線量計算アルゴリズムの進歩

大阪大学医学部 隅田 伊織 先生

11:25～12:45 代表的な RTPS 線量計算アルゴリズム

大阪大学医学部 高橋 豊 先生

12:45～13:25 昼食（お弁当付）と休憩

13:25～14:25 ランチョンセミナー

RTPS を用いる際の注意事項 メーカーの立場から -

(株)ヴァリアンメディカルシステムズ 神田 哲弥 先生

14:30～15:50 治療計画を行う上での注意すべきポイント

(財)癌研有明病院 放射線治療部 吉岡 稔 先生

15:50～16:00 閉会の辞